


常陸大宮市(ひたちおおみやし)

	市章	〒 319-2292	地域指定	一部事務組合加入事業	法人番号	6000020082252
	〈住所〉常陸大宮市中富町3135番地の6 〈TEL〉0295-52-1111 〈FAX〉0295-53-5415 〈HP〉http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/ 〈e-mail〉soumu@city.hitachiomiya.lg.jp	類型 I-1 地方公共団体コード 082252 面積 348.45 km ²	過疎(一部区域) 辺地(一部区域) 山振(一部区域) 特定農山村(一部区域)	退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市 町村会館管理 滞納処分等 農業共 済 し尿 ごみ	公営企業 ※令和3年3月31日現在 法適用(上水 公共下水 農業集落排水) 法非適用(特定地域生 活排水 宅造)	

<行政組織>

①長等(令和3年5月1日現在)

長	すずき さだゆき 鈴木 定幸 (54歳)	任期	令和6年4月22日
		就任回数	1期目
副市長	欠員		

②議会(令和3年5月1日現在)

議長	小森 敬太郎	副議長	黒部 博英
任期	令和4年8月5日	条例定数	18人
党派別	公明2人、共産2人、無所属14人		
現議員数	18人		

③職員数(令和2年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係		公営事業会計関係	
	うち一般行政関係	うち一般行政関係	うち一般行政関係	うち一般行政関係
487	442	304	45	
一般行政職の平均給料月額	3,087百円	ラスパイルズ指数 98.6	地域手当補正後ラス指数 98.6	
全職員数の推移	平成29年4月1日	平成30年4月1日	平成31年4月1日	
	486	489	487	

④機構図(令和3年4月1日現在)

〈市長〉-〈副市長〉-
政策審議室-秘書広聴課、企画政策課

総務部-総務課、財政課、危機管理課

地域創生部-地域創生課、定住推進課、山方支所、美和支所、緒川支所、御前山支所

市民生活部-市民課、生活環境課、税務徴収課

保健福祉部-医療保険課、健康推進課
|
国保美和診療所、国保緒川歯科診療所

福祉事務所-社会福祉課、こども課、長寿福祉課

産業観光部-農林振興課、商工観光課

建設部-都市計画課、駅周辺整備推進課、土木建設課

上下水道部-総務経営課、施設管理課

〈会計管理者〉-会計課

〈消防長〉-消防本部-総務課、警防課、予防課
|
東消防署、西消防署

〈議会〉-議会事務局

〈監査委員〉-監査委員事務局

〈農業委員会〉-農業委員事務局

〈教育委員会〉-教育長-教育委員事務局-学校教育課、生涯学習課、文化スポーツ課

〈行政委員会〉
選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

平成16年10月16日 編入 山方町 美和村 緒川村 御前山村 平成16年10月16日 市制施行
--

②地勢・風土等

常陸大宮市は、茨城県の北西部、八溝山地及び阿武隈山地の南端部に位置し、面積は348.45km²である。東に久慈川、南に那珂川が流れ、市の面積の約60%を山林が占める。先人たちが作り上げた自然や歴史、文化、地域の絆などかけがえのない財産・つながりを大切に、「ふるさと常陸大宮」を次の世代、そして未来へとつないでいくため、「郷育立市」の考えを踏まえ、「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」を目指している。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和3年4月1日)	
	平成17年	平成22年	平成27年		
人口	男	23,297	22,141	20,953	19,153
	女	24,511	23,037	21,634	19,589
	合計	47,808	45,178	42,587	38,742
世帯数	16,029	16,087	16,005	16,009	

④有権者数(令和3年3月1日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 36.8%
	17,590	17,810	35,400	

<産業・経済>

①生産・所得(平成30年度)

市町村内総生産	1,469億円	住民所得	1,137億円
		人口1人当り住民所得	2,791千円

②産業構造

区分	総生産額(平成30年度)	就業人口(平成27年国調)
第1次	6,884 4.7%	2,035 10.1%
第2次	53,344 36.3%	6,314 31.4%
第3次	85,833 58.4%	11,778 58.5%
総額・総数	146,879	20,344

③農業・工業・商業

農業 (平成27年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	3,783	648	2,556
製造業 (令和元年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H30.1.1~12.31)
	98	4,701	111,648
卸・小売業 (平成28年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H27.1.1~12.31)
	416	2,416	63,058

④特産物

西ノ内和紙、しいたけ、常陸秋そば、鮎、ゆず、地酒、奥久慈米、鶏卵、奥久慈ねぎ、奥久慈の枝物、奥久慈なす、奥久慈いちご

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成30年度決算	令和元年度決算	増減率
歳入	22,430,668	24,982,198	11.4
歳出	21,405,999	22,773,318	6.4
形式収支	1,024,669	2,208,880	-
実質収支	983,613	1,532,473	-
単年度収支	△ 216,424	548,860	-
実質単年度収支	53,794	△ 788,264	-

②主な歳入・歳出(令和元年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	24,982	-	2,551	11.4
地方税	4,947	19.8	△ 29	△ 0.6
地方交付税	8,104	32.4	171	2.2
国庫支出金	2,629	10.5	500	23.5
地方債	2,020	8.1	85	4.4
うち臨財債	499	2.0	△ 155	△ 23.7
その他	7,282	29.2	1,824	33.4
うち繰入金	2,363	9.5	1,541	187.5
歳出	22,773	-	1,367	6.4
義務的経費	10,301	45.2	147	1.4
人件費	3,683	16.2	△ 3	△ 0.1
扶助費	3,806	16.7	278	7.9
公債費	2,812	12.3	△ 128	△ 4.4
投資的経費	2,587	11.4	531	25.8
普通建設事業費	2,205	9.7	149	7.2
うち補助	639	2.8	85	15.3
うち単独	1,549	6.8	66	4.5
その他の経費	9,885	43.4	689	7.5
うち繰出金	1,987	8.7	△ 666	△ 25.1

③主要指標(令和元年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.91)
連結実質赤字比率	- % (17.91)
実質公債費比率	8.6 % (25.0) [6.7]
将来負担比率	25.8 % (350.0) [41.9]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和2年度)	0.430	[0.707]
経常収支比率	93.1 %	[92.4]
標準財政規模(令和2年度)	13,377 百万円	[15,286]
地方債現在高(A)	24,387 百万円	[25,735]
債務負担行為支出予定額(B)	2,278 百万円	[5,072]
積立金現在高(C)	9,136 百万円	[6,586]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	17,529 百万円	[24,221]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和元年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,725,671 (33.0)	1,676,025 (33.9)	97.1 [96.8]
市町村民税・法人 (構成比)	326,029 (6.2)	322,852 (6.5)	99.0 [98.8]
固定資産税 (構成比)	2,760,277 (52.7)	2,534,922 (51.2)	91.8 [96.5]
市町村税合計 (国保除く)	5,237,229	4,947,379	94.5 [96.9]

<公共施設整備状況>(令和元年度) ※1は令和2年度

小学校 ※1	11 校	体育館	5 箇所
中学校 ※1	4 校	プール	3 箇所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 箇所
幼稚園 ※1	3 園	老人福祉施設	44 箇所
保育所 ※1	10 箇所	病院・一般診療所	26 箇所
認定こども園 ※1	3 園	道路改良率	40.6 %
図書館	1 箇所	道路舗装率	54.3 %
公営住宅	659 戸	上水道等普及率	98.3 %
公民館等	27 箇所	汚水処理普及率	74.6 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
移住・定住促進 事業	R2 ~ (拡充)	移住希望者に向けた情報発信や相談体制の充実を図るとともに、住宅取得取得奨励金を交付するなど、移住・定住の促進を図る。	58
地域創生まちづくり 事業	H29 ~	地域団体等が実施する各種地域活性化事業に対して助成を行うことで、地域の特性を生かした魅力と活力のある元気なまちづくりを推進する。	34
不妊治療費助成 事業	R3 ~ (拡充)	少子化対策の一環として、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図るため、国及び県助成に上乗せし、治療費の全額助成を行う。(男性不妊含む)	10
常陸大宮駅周辺 整備事業	H28 ~	まちの活性化や住民生活の質の向上等に資することを目的に、JR常陸大宮駅周辺の都市基盤整備等を推進する。	340
学習用ICT機器 管理事業	R3 ~ (拡充)	GIGAスクール構想により導入した機器の管理を行うほか、タブレット型パソコンに学習支援ソフトを導入することにより、児童生徒一人ひとりに合った、より効果的な学習指導を行う。	28

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・人口減少と少子高齢化の進行
- ・子育て支援、教育環境の充実
- ・地域産業の活性化・雇用の創出
- ・安全・安心を求める意識の高まり
- ・環境問題の深刻化
- ・協働のまちづくりと地方分権の進展
- ・社会インフラなどの老朽化
- ・情報通信技術(ICT)等の進展
- ・国際化への対応、東京オリンピック・パラリンピックの開催

<特色ある行政>

- ・郷立市によるまちづくりの推進
- ・ライフステージに応じた常陸大宮を支える「ひとつり」の推進
- ・地域の特性を生かした「まち(拠点)づくり」の推進
- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりの構築
- ・「しごと・ものづくり」による活力の創出
- ・戦略的な魅力の発信の展開